

平成4年度三河国分尼寺跡確認調査の概要

1. 三河国分尼寺とは

国分尼寺は国分寺と同じく天平13年(741)に聖武天皇の詔願によって、
ちんご鎮護国家・五穀豊穡を願い国ごとに建立された国立寺院であり、正しくは
ほっけめつざいのてら法華滅罪之寺と言います。

三河国分尼寺跡の存在する豊川市八幡町周辺は、律令時代の三河国の中心地として栄えた地域であり、国府推定地(白鳥町)、船山古墳(八幡町上宿)、国分寺跡(八幡町本郷)など古代を中心とした重要な遺跡のあるところです。

三河国分尼寺跡は、三河国分寺跡とともに大正11年指定を受けた国史跡であり、その字名忍地(ニンチ)や、国分寺跡と同じ古瓦の出土、礎石の存在などから古くよりその存在が知られてきました。指定地内には、16世紀に開かれたとされる清光寺が存在し、その境内には高さ約1mの金堂基壇とその礎石が現在でも良く残されており、当時の栄華をしのぶことが出来ます。

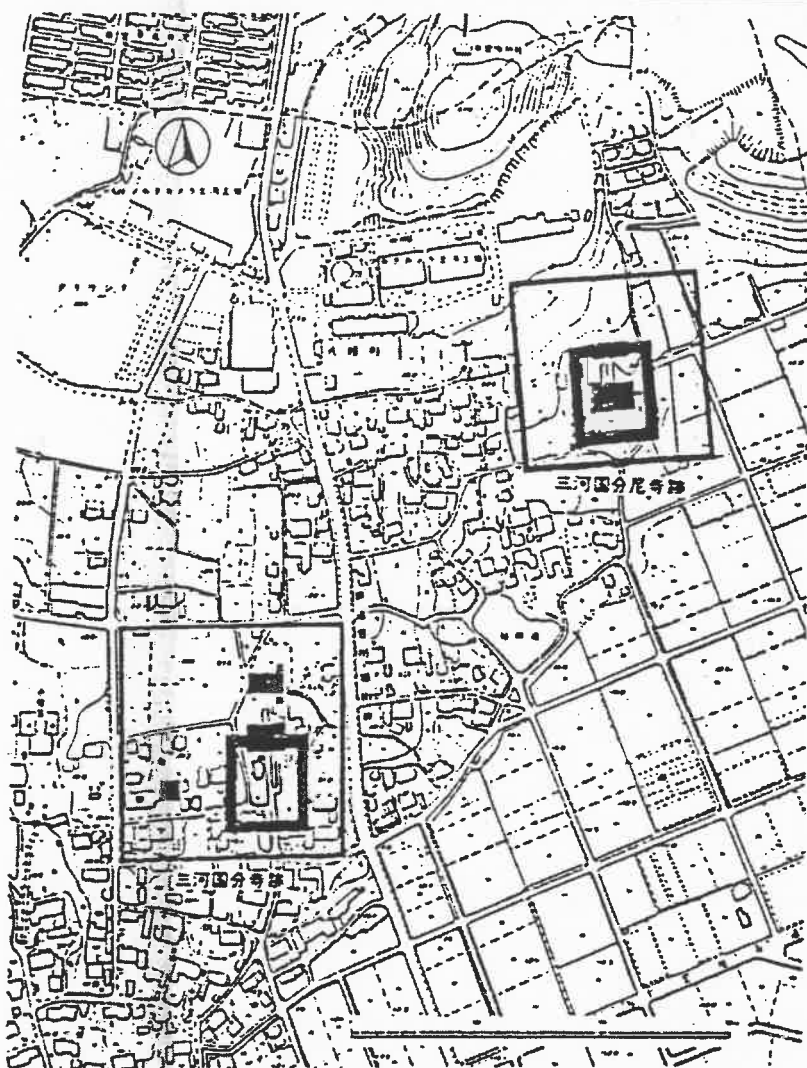
2. 調査の目的

尼寺跡の発掘調査は昭和42年故石田茂作氏らによって実施され、この時の調査で金堂・講堂・中門・南大門などの遺構配置が確認され、伽藍中樞部の概要が判明し、尼寺としては非常に規模の大きな金堂をもち、回廊が複廊であることなど数々の調査成果が得られました。しかし、西回廊、尼房・食堂等の雑舎、寺域の確認には至っていません。

そこで、豊川市教育委員会では、昭和63年度に策定した「史跡三河国分寺跡・国分尼寺跡保存管理計画」にもとづいて、今後この史跡を整備する

ための基礎資料を得る意味から判明していなかった遺構確認する為に調査を行っています。この調査によって平成2年度・3年度に東面・西面・北面を画する遺構が確認され、寺域は500尺（天平尺の1尺は29.7cm 150m四方）であることが確認されました。

そこで、平成4年度は判明していなかった西回廊及び雑舎等を確認するため、想定される西回廊の位置から寺域西端までの部分を約800mにわたり9月16日から調査を実施しています。



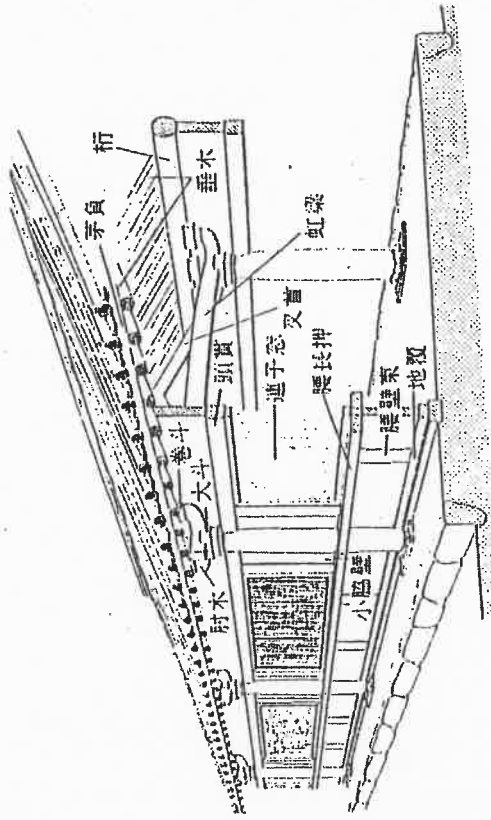
三河国分二寺周辺現況図

3. 確認された遺構

国分尼寺の造営された時期（奈良時代中期～平安時代初頭）にさかのぼる遺構としては、調査区東側で長さ16mにわたり西回廊の基壇を確認しています。検出された基壇幅は現状で約7mですが、基壇西側が中世溝（SD6）によって壊されている点や、基壇東側が調査区外であることなどを加味すれば復元基壇幅は約9mと想定され、これは国分寺（僧寺）で確認された回廊幅9.1mとほぼ同規模といえます。

基壇上には2か所礎石が確認されていますが、他の礎石は既に抜き取られており根石・抜き取り痕等も確認できませんでした。なお、この2か所の礎石から柱間寸法を復元すると、桁行3.6m（12尺）、梁行3.0m（10尺）の覆廊であることが想定されます。これも国分寺で確認された回廊と同規模であり、これにより僧寺・尼寺ともに同様の設計のもとに造営されたことがうかがえます。

回廊に付属する施設として、基壇東側で雨落ち溝(SD1)が検出されました。これは回廊の屋根から落ちる雨水を排水するためのものであり、溝の中からは回廊倒壊時に堆積したと考えられる瓦が多量に出土しています。



上の復元図は単廊ですが、三河国分尼寺の場合は中央に壁のある複廊です。

また、調査区西側では寺域を囲む遺構(築地跡)を確認しています。国分寺や国分尼寺などの古代寺院では、寺の周囲を築地塀で囲む例が多くみうけられます。右の絵のように土を固めながら積み上げ瓦を葺く例が一般的ですが、上土塀のような構造をとる場合もあります。ところで、三河国分寺は、過去の調査で少なくとも東面の築地は瓦を葺く築地塀であったことが確認されていますが、三河国分尼寺の西面築地の場合、瓦がほとんど出土していないことから上土塀等の瓦を葺かない構造の塀が想定されます。

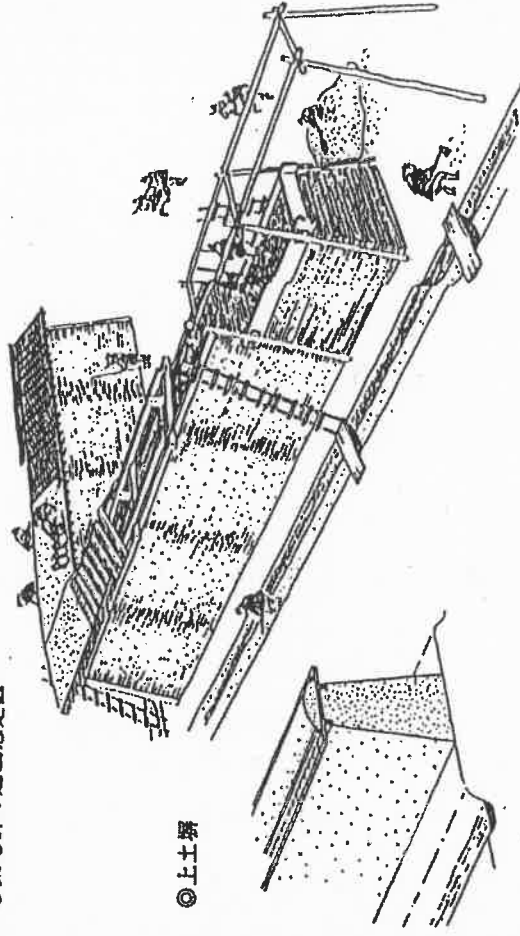
こうした塀は、後世の削平をうけることが多く塀自体がそのまま残っていることはまれですが、塀のわきに排水溝を設けることが多いことからその位置を推定することが可能になります。

なお、国分尼寺廃絶後もこの地には多くの人が生活を営んでいたことが確認されています。遺構としては、堅穴住居跡1軒(SH1)・火葬墓3基(SZ1~3)・井戸跡2基(SE1・2)多数の溝、柱穴等があります。

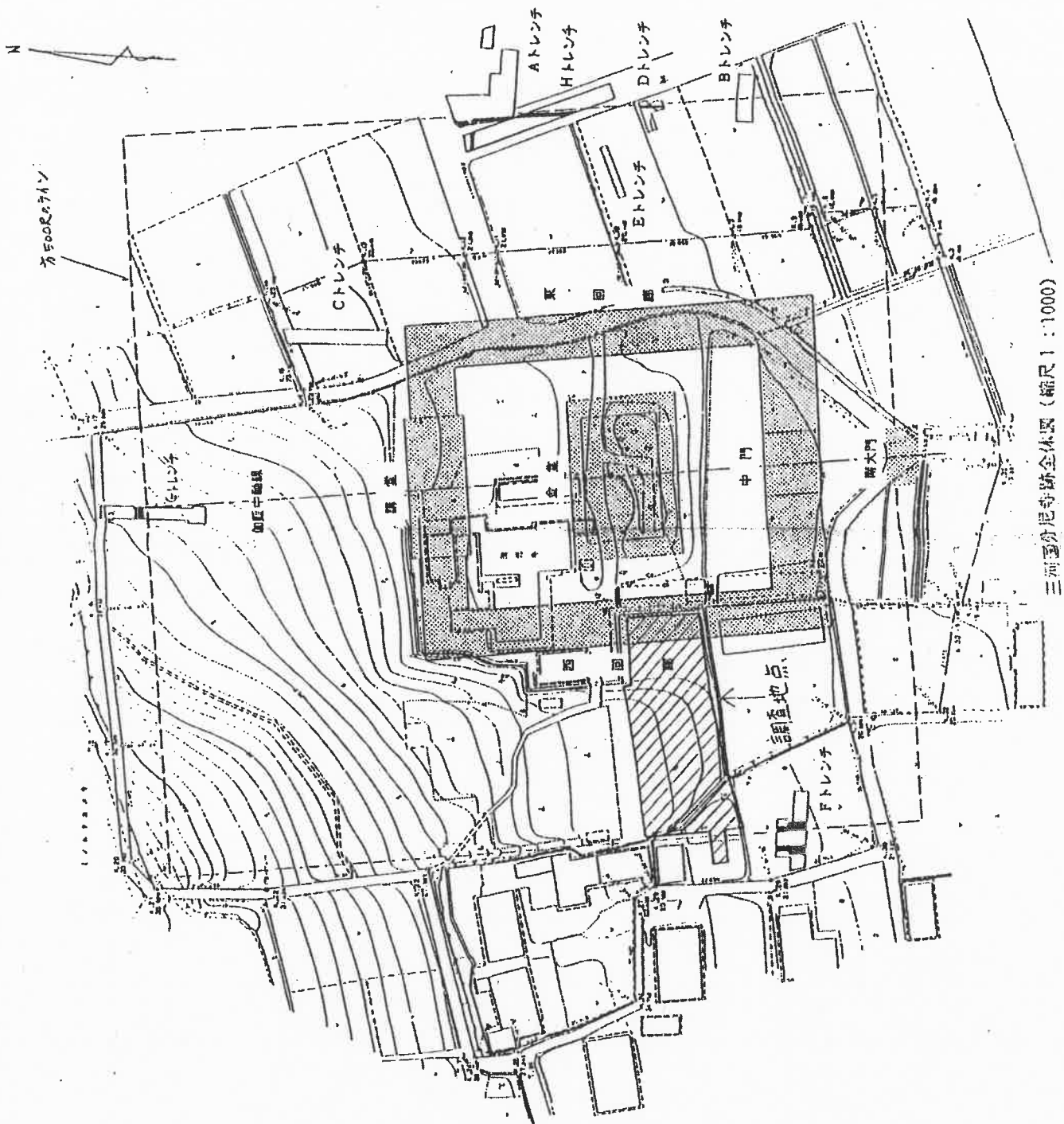
4. まとめ

今回の調査により、今まで確認されていなかった西回廊跡が検出されたことで、国分尼寺の主要伽藍が雑舎等を除き全貌が明らかとなったことは大きな成果であり、今後の史跡整備にむけた大きな資料を得たと考えられます。

◎築地塀の建設想定図



◎上土塀



三河聖分尼寺跡全体図 (縮尺 1:1000)

